

エピファニー祭って何？大統領にガレットを



フランスでは、年が明け、1月最初の日曜には、galette des rois (ガレット・デ・ロワ) を食べてエピファニー祭を祝う風習があります。

エピファニー祭とは？



この日にガレット・デ・ロワを食べる風習については、[アンサンブル講師Ayakoさんの記事](#)が詳しいので、そちらをお読みいただくとよく分かるかと思えます。中に入っている**フェーヴ**と呼ばれる陶器製の小さな人形を当てた人が王様になって、用意された王冠をかぶることになっています。

この**エピファニー祭には、パリの製菓職人たちも、エリゼ宮の大統領に大きなガレットをプレゼントします**。これは1975年、ヴァレリー・ジスカルド・デスタンの時代に始まったもので、今も毎年続けられています。



2013年のオランダ大統領とガレットの様子は[こちらのビデオ](#)

イルドフランス最高のガレット賞

も獲得したヴェテランで、シラク大統領時代から18年担当しています。

ガレットは直径が1.15mもあり、やはり特別な技法が必要なのだそうです。シラク大統領、サルコジ大統領、オランダ大統領にガレットを届けてきたポテ氏によると、一番グルマンだったのはシラク大統領だとか。

ところで、このエリゼ宮用ガレットには、実は**フェーヴ**が入っていません。なぜなら、「**大統領は王様になることができない**」という意味が込められているからです。なかなかひねった粋なプレゼントではないですか。



執筆：ゆき

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

